

4/11[土]—6/14[日]
休館日:月曜日[5月4日は開館]/4月30日[木]/5月7日[木]

生誕100年
莊司福展
花、大地、山——
自然を見つめて
SHOJI Fuku:
Eyes in Nature

花や石や山といった自然を見つめて、現代日本画に深遠で玄妙な世界を確立し、現在、ますます評価が高まっている莊司福[1910-2002]の世界を、代表作約90点で回顧します。

6/15-6/26 展示替休館
6/27[土]—8/23[日]
休館日:月曜日[7月20日は開館]/7月21日[火]

画家の眼差し、
レンズの眼
近代日本の写真と絵画
Photographs and Paintings
in Modern Japanese Art

19世紀に発明された写真術は視覚文化に幅広い影響を与えてきました。本展は、その日本における様相をとりあげ、油絵、日本画、版画などさまざまなメディアと写真とを比較検討しながら、幕末から昭和初期までの近代絵画におけるリアリズムの問題や日本近代写真の成立と展開などについて再考します。

8/26-9/4 展示替休館
9/5[土]—10/12[月 祝]
休館日:月曜日[9月21日/10月12日は開館]/9月24日[木]

フランスの浮世絵
アンリ・リヴィエール展
Henri Rivière:
un maître français de l'ukiyo-e

アンリ・リヴィエール[1864-1951]は19世紀末から20世紀にかけてフランスで活躍した版画家、画家です。ジャポニズムの流行の中、浮世絵から大きな刺激を受けた多色摺りの木版画、リトグラフをはじめとして、その作品は素材で澄명한独自の世界を形成しています。フランス国家に新たに寄贈された作品と資料をバリのオルセー美術館、国立図書館と日仏共同研究した世界初のリヴィエール回顧展です。

10/13-11/2 展示替休館
11/3[火 祝]—12/20[日]
休館日:月曜日[11月23日は開館]/11月4日[木]/11月24日[木]

『白樺』誕生100年
白樺派の愛した美術
Shirakaba
- Pilots of Art in Modern Japan

1910年に創刊された『白樺』の同人たち「白樺派」は、誌上で積極的・美術評論を展開し、セザンヌ、ルノワール、マティス、レンプラント、ロダンといった西洋美術の巨匠を日本に紹介、また同人の画家や西洋美術を紹介する展覧会を20回近く開催しました。理想の美術館「白樺美術館」建設を夢見た白樺派が愛した美術に焦点をあて、日本近代美術の転換点になった彼らのさまざまな活動を紹介します。

12/21-1/8 展示替休館
1/9[土]—3/22[月]
休館日:月曜日[1月11日/3月22日は開館]/1月12日[火]/2月12日[金]

長澤英俊展
オーロラの向かう所
NAGASAWA
Dove tende Aurora

大学卒業後に大陸を横断してヨーロッパに行き、以後ミラノを拠点に大理石や木、金属などを素材とする神話的テーマをもつ彫刻によって、身体や行為と空間との関連性を重視した作品世界を探究してきた長澤英俊[1940-]。1993年以来となる国内待望の個展で、近作を中心にその造形の軌跡をたどります。



莊司福 /《眼》/1985年



上:安藤伸太郎 /《日本の寺の内部》/1895年
下: Inside Asakusa Temple Tokio
撮影年不詳 / 国際日本文化研究センター



ポール・セザンヌ /《風景》/1885-87年
大原美術館 (白樺美術館より永久寄託)



岸田鴎生 /《静物(湯呑と茶碗と林檍三つ)》
1917年 / 大阪市立近代美術館建設準備室



長澤英俊 /《角》/1980-81年

4/4[土]—5/10[日]
休館日:月曜日[5月4日は開館]/4月30日[木]/5月7日[木]

春のコレクション・版画展
シャガールとルドン
Spring Exhibition:
Prints by Marc Chagall and Odilon Redon from the Museum Collection

当館は数多くのヨーロッパ版画を収蔵しています。そのなかから版画にも数々の傑作を残した二人のフランス絵画の巨人、マルク・シャガール[1887-1985]とオディロン・ルドン[1840-1916]を選び、そのシリーズ版画を約100点展示します。シャガールの華やかな色彩世界とルドンのあらゆる色を含んだ深い黒の世界を比べながら、版画の奥深さを探ります。

5/11-5/29 展示替休館
5/30[土]—9/6[日]
休館日:月曜日[7月20日は開館]/7月21日[火]

建築家 坂倉準三展
Junzo SAKAKURA, Architect

坂倉準三[1901-1969]は20世紀建築の巨匠・ル・コルビュジエの弟子としてモダニズム建築・デザイン分野ですぐれた仕事を数多く残しました。本展では没後40年を記念して、建築から都市、家具、インテリアなど多岐にわたる活動の全貌を振り返り、その今日的な意義を探ります。住宅や家具を中心にした第2部をパナソニック電工沙留ミュージアムで同時開催[7月4日-9月27日]。

9/7-9/18 展示替休館
9/19[土]—11/3[火 祝]
休館日:月曜日[9月21日/10月12日は開館]/9月24日[木]/10月13日[火]

麻生三郎とそのコレクション
ASO Saburo and His Collection

戦前・戦後を通じて、美術界を牽引した重要な画家のひとり、麻生三郎[1913-2000]は、共感する他の画家の作品を手元に置いて刺激を受けたコレクターでもありました。当館に寄贈された知られざるそのコレクション[65点]の全貌を紹介し、あわせて麻生三郎自身の作品[油彩20点、水彩・デッサン10点]を出品予定です。

11/4-11/13 展示替休館
11/14[土]—1/24[日]
休館日:月曜日[11月23日/1月11日は開館]/11月24日[火]/12月24日[木]/12月29日[火]-1月3日[日]/1月12日[火]

内藤礼展
NAITO Rei

空間を満たす光、空気の揺らぎ、周囲の音——造形を取り巻く繊細な要素を無垢な作品の場へと紡ぎだす、現代日本を代表するアーティストのひとり、内藤礼[1961-]。自然に囲まれ、室内と屋外の交錯する鎌倉館ならではの作品空間が展開される個展です。

1/25-2/5 展示替休館
2/6[土]—3/28[日]
休館日:月曜日[3月22日は開館]/2月12日[金]/3月23日[火]

松谷武判展
MATSUTANI Takesada

大阪に生まれ、現在パリで活動する日本を代表する現代作家、松谷武判[1937-]の個展。具体美術展デビュー以来、鉛筆をもちいて、実験的な表現を追求してきたアーティストの世界を、新作を中心に紹介します。



坂倉準三 / ル・コルビュジエ(右)と桂離宮で
1955年 / 画像提供: 坂倉建築研究所



麻生三郎 /《自画像》/1963年



内藤礼 /《タマ・アニマ(私に息を吹きかかて下さい)》
2006年 / 佐久島、愛知
撮影: 島山直哉 / 参考写真
Courtesy of Gallery Koyanagi, Tokyo



松谷武判 /《顔-99》/1999年 / 参考写真

4/4[土]—5/24[日]
休館日:月曜日[5月4日は開館]/4月30日[木]/5月7日[木]

新収蔵作品展
New Acquisitions

2008年度に収蔵された作品を中心に、近年の収蔵作品を紹介いたします。油彩画15点、日本画4点、彫刻10点、その他約18点を展示予定。吉村弘の出版物も特展展示いたします。

5/25-6/5 展示替休館
6/6[土]—9/6[日]
休館日:月曜日[7月20日は開館]/7月21日[火]

珠玉のコレクション
美術館は
ぼくらの宝箱——
子どもたちの視点がかかるもの
The Museum is Our Treasure Box !
- Fun of Looking at the Collection
with Children

当館が制作した「Museum Box 宝箱」という美術館キットをきっかけに、この数年間美術館を楽しんできた子どもたちがあります。本展は、その子どもたちの新鮮な言葉や映像とともに、美術館や珠玉のコレクションの魅力を紹介する展覧会です。

9/7-9/18 展示替休館
9/19[土]—12/20[日]
休館日:月曜日[9月21日/10月12日/11月23日は開館]/9月24日[木]/10月13日[火]/11月4日[木]/11月24日[火]

北川原
コレクション展
The Kitagawara Collection

当館の美術館活動に理解を示された北川原夫妻のコレクションの寄贈を記念した展覧会。ジョージ・グロス[1880-1954]やアンドレ・ドララン[1893-1959]などのヨーロッパの作家作品8点と海老原喜之助や島海青児など日本近現代の洋画家作品59点、総数67点を展示します。

12/21-1/4 展示替休館
1/5[火]—3/28[日]
休館日:月曜日[1月11日/3月22日は開館]/1月12日[火]/2月12日[金]/3月23日[火]

所蔵品による
イギリスの版画
Museum Collection
- British Prints

ケネス・アーミテージ、リチャード・ハミルトン、ウィリアム・スコット、ヘンリー・ムア、ウィリアム・ブレイク、ウィリアム・ホガースなど、収蔵する西洋版画コレクションのなかからイギリス版画約70点を選んで展示いたします。

●この年間スケジュールは、2009年3月現在の予定です。
内容が若干変更される場合がありますので
あらかじめご了承ください。



鷹山宇一 /《静物》/1931年頃



松本竣介 /《立てる像》/1942年



岸田鴎生 /《童女図(麗子立像)》/1923年



海老原喜之助 /《川辺にて》/1962年



島海青児 /《家の修理 沖繩風景》/1959年頃



ウィリアム・セザンヌ /《「遊女一代」第2図》
1800-10年頃